

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・11・23 (土)
南NEWS no 98

秀吉の天下統一と八王子城の落城

11月23日(土)に、南女子部主催の日帰りバスハイクがあります。行く先は小田原方面です。何人かのコーチも参加します。矢上も参加します。

そこで、小田原城に因んで、寺田小(緑が丘小)時代に6年生と学習したのが表題のテーマで、その概要をこのNEWSに載録したいと思います。

では始めます。

1590年(天正18年)4月3日。秀吉は天下統一の仕上げとして北条氏の小田原城攻めを開始したのです。

秀吉の軍勢21万は5万6千人が立てこもる小田原城を4ヶ月にわたって包囲します。

7月5日、小田原城主：北条氏直が自らの切腹と引き替えに家臣達の除名を申し入れて降伏したのです。これをもって秀吉の天下統一は成ったのです。

北条氏直が籠城を断念し、降伏したきっかけは八王子城(元八王子)の落城だったのです。秀吉の天下統一は八王子城の落城で成ったとも言えるのです。

1590年(天正18年)6月23日夜明け前。上杉景勝・前田利家・真田昌幸、総勢1万5千人の軍勢は3000人が立て籠もる八王子城へ攻撃を開始します。

城主氏照は小田原城に入って不在。残りの守備隊は少数の武将と戦の素人ばかり。たった一日で落城してしまっただけです。北条方の死傷者は約1

000人。

城内にあった御主殿の滝に城方の婦女子は自害して身を投げ、滝の水は3日3晩、血で赤く染まったと言われています。下流の川の水でご飯を炊くとみんな赤まんまになったとのことです。

古世古和子さんの『赤いくし』という本に描かれています。



八王子城を守って戦った武将の一人に近藤出羽守助実がいました。今から35年前、秀吉の天下統一と八王子城の落城の授業をしたとき、6年生の子ども達と館町にある浄泉寺を訪れ、近藤出羽守と奥方のお墓の見学をしました。1590年(天正18年)6月23日に亡くなったとお墓に刻まれていました。浄泉寺は出羽の守の館跡地に建立されたお寺だったのです。

その時は歴史を感じさせる古びたお墓だったのですが、いわゆるよく見る古色蒼然とした武将のお墓だったのですが、次に受け持った6年生と訪れたときは、新しい大きな石碑のようなお墓になっていました。びっくりしたのを覚えています。

八王子城が落城して、討ち死にした北条方の首が小田原に送られ、将兵の妻子が城外に晒し者にされたことで、小田原城に立て籠もっていた北条氏の士気が低下し、これをきっかけに籠城を断念したのです。

秀吉の天下統一は成し遂げられたのです。

テレビの番組で八王子城址には討ち死にした将兵の霊が出るという放送がされたことがあります。矢上も不思議な体験をしたことがあります。

小田原城、完全包囲!



